









オープンキャンパス 川崎医科大学附属病院見学ツアー・見学先一覧

【川崎医科大学附属病院の案内】	二次元バーコード
■川崎医科大学附属病院ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/	




【Aコース】「医療保育学科、保健看護学科」希望者におすすめです。

部署・部門	実習学科等	施設紹介	二次元バーコード
臨床教育研修センター	各学科	<ul style="list-style-type: none"> ●「卒前」から「卒業後」まで、継続して専門教育が受けられ、高い能力とスキルを持つ「医療人」を育成することを目的として開設されました。看護師や医師等の臨床現場における基礎的な技術の習得を目的としています。病院や学内外の様々な方に利用されています(利用者数 年間約20,000人)。 ●「模擬病棟」エリア、「多目的演習室」エリアがあり、様々なシミュレーターや医療機器を設置しており、医師、看護師等、医療スタッフが利用しています。中でも、看護師の利用が一番多く、新人フォローアップ研修、採血トレーニング、各種講習会等、様々な目的で頻りに利用し、スキルアップに励んでいます。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/kcet/</p>	
小児病棟	看護、医療保育	<ul style="list-style-type: none"> ●小児科の患者と、全ての診療科の0～15歳の患者が入院している病棟です。入院患者が全員「子ども」のため、他の病棟とは異なり、子どもの安全に配慮したセキュリティや、病棟全体を絵本のように見立てた壁画アートが施されているのが特徴的です。そのほか、「プレイルーム」や「院内学級」も設置されています。 	
一般病棟 女性医療センター病棟	看護	<ul style="list-style-type: none"> ●当院の病棟は「臓器・機能別」に分かれており、12階中病棟は「女性医療センター病棟」で、産科病棟としての役割もあります。病棟には、病室のほかに、スタッフステーション、HCU(重症患者の観察室)、シャワー室・浴室、介助シャワー室、トイレ、清浄室等様々な部屋や機能があり、患者さんの治療・居住環境が整えられています。 	
学生実習室	全学科	<ul style="list-style-type: none"> ●病院で実習中の学生が自由に使用できる、学生専用の部屋です。学生は、この部屋で実習内容をまとめたり、空き時間に予習・復習等を行ったりしています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/kango/(看護部)</p>	
病児保育室	医療保育	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎学園の職員・医師のお子さまが、病気やけが等により保育園や小学校に通えない場合に、お子さまを一時的にお預かりし、保育を行う施設です。職員が安心して仕事と子育てを両立できるよう、急なお子さまの体調不良時にも相談・利用できる福利厚生施設として設置されています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_210/dept_b_dtl/</p>	

【Bコース】「臨床検査学科、診療放射線技術学科、臨床工学科」希望者におすすめです。

部署・部門	実習学科等	施設紹介	二次元バーコード
MEセンター	臨床工学	<ul style="list-style-type: none"> ●MEセンターは、臨床工学技士によって運営されています。臨床工学技士は「医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う者」と法律で定められています。ここでは、病院内の様々な医療機器を安全かつ効率的、効果的に使用できるよう運用とメンテナンスを行っています。MEセンター以外に、手術室や集中治療室、救命救急センター、腎センター、内視鏡センター等でも臨床工学技士が活躍しています。臨床工学技士は医療機器を通して、医療の質の向上と安全性の確保を担う職種です。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_117/dept_b_dtl/</p>	
画像診断センター1・2 PET/CT 放射線治療 (中央放射線部)	放射線	<ul style="list-style-type: none"> ●「画像診断センター」は、様々な検査装置を用いて画像診断を行う中央協力部門で、診療放射線技師は「中央放射線部」に所属しています。中央放射線部には医学や放射線技術学に関する豊富な専門知識をもつ40余名の診療放射線技師が在籍し、安全・安心な放射線検査や治療、被ばく管理等を行っています。 ●診療放射線技師は、「一般撮影装置」(レントゲン)、胃などの検査を行う「透視装置」、がん等特殊な放射線を照射して治療を行う装置など、医師からの指示に基づき診断や治療を行うため、撮影や各種装置の操作を行っています。年間総検査数は約160,000件以上です。 ●PET/CT装置は、PET(陽電子放射線断層撮影)装置とCT(コンピュータ断層撮影)装置が一体型となった検査装置で、主に全身を対象に「がん細胞」の早期発見や再発・転移診断、治療効果判定などで使用されています。年間1,700件以上の検査を実施しています。 ●放射線治療装置(リニアック)は、体の外から高エネルギーの放射線(主にX線または電子線)を照射し、細胞のDNAを傷つけて腫瘍の増殖を抑えることで手術のように体を切らずに治療ができる装置です。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_104/dept_b_dtl/</p>	
中央検査部	臨床検査	<ul style="list-style-type: none"> ●中央検査部は、患者の病気を正しく診断し、治療の方針を決め、治療効果を判定するために必須の臨床検査業務を行う部門です。業務を担うのが臨床検査技師で、現在約70名の技師が24時間体制で勤務しています。1日の検体数は入院・外来併せて1,000検体以上で、採血・採尿センターでは一日に約450人の採血を実施しています。 ●臨床検査は大きく分けて、血液や尿などの検体を扱う「検体検査」と、心電図や脳波検査、超音波検査などの「生理機能検査」があります。部門は異なりますが、病院病理部でも臨床検査技師が検査を行っています。日常業務以外にも研究や執筆、学会参加などの学術活動も盛んに行い、専門的な技能や知識を向上させています。チーム医療の一員として、他職種のスタッフとの連携が重要です。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_105/dept_b_dtl/</p>	

【Cコース】「理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科、視能療法学科、臨床栄養学科」希望者におすすめです。

部署・部門	実習学科等	施設紹介	二次元バーコード
栄養部	臨床栄養	<ul style="list-style-type: none"> ●食事や栄養の面から、患者に対して病気の治療や予防に必要なケアを行う部門で、「食事管理部門」と「栄養指導部門」の2つの部門で構成されています。 ●「食事管理部門」では、入院患者の病状に適した食事を提供しています。食事の種類は約200種類、一度に作る食事数は600食で、1日に約1,800食提供しており、季節の行事に合わせたお食事となるよう工夫しています。365日休まず提供するため、朝5時～夜8時まで勤務しています。 ●「栄養指導部門」では、糖尿病や腎臓病など、食事療法が治療に欠かせない方へ、管理栄養士が栄養指導を実施しています。また、NSTサポート介入や病棟専従管理栄養士の配置など幅広く手厚い栄養管理を実施しています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_112/dept_b_dtl/</p>	
リハビリテーションセンター	リハビリテーション学部	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法・作業療法・言語聴覚療法の3つの部門に、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)という国家資格を持った専門家が、病気やケガなどで心身に障害を負った方々に治療を行っています。赤ちゃんから高齢者まで全ての世代の患者が対象です。センターの治療患者数(年間)は、理学療法 約65,000人、作業療法 約60,000人、言語聴覚療法 約23,000人です。 【理学療法】関節の柔軟性の改善と筋力強化を図る目的で運動療法を中心とした治療や歩行練習を行っています。歩行練習では歩行支援ロボット(HAL・ウェルウォーク)も導入して行っています。また、電気治療なども行います。 【作業療法】日常生活や学業、仕事、家事を行うための治療を実施します。必要な患者に対しては、自動車運転シミュレーターを用いて自動車運転の評価なども実施します。その他、精神科疾患の作業療法も実施します。 【言語聴覚療法】こたば・発音・声・食べるための機能の検査や治療を実施します。言語聴覚療法室は、個室の多さが全国でもトップクラスで、聴力検査室や観察室も完備しています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_114/dept_b_dtl/</p>	
感覚器センター(眼科)	視能療法	<ul style="list-style-type: none"> ●当科は、眼科領域の各分野の専門医が在籍しており、受診患者数は入院・外来併せて年間約16,000人です。 ●視能訓練士(CO)は、眼科におけるほとんどの検査を担っており、眼の病気の早期発見・早期治療を行ううえで必須の職種です。当科には約30台の検査機器があり、医師の指示のもと、乳幼児から高齢者まで、すべての世代を対象に視力検査や視野検査などの機能評価、眼の内部の画像撮影を行う形態評価など、様々な検査業務を行っています。また、斜視(眼の位置ずれ)や弱視(視力の発達不全)の小児に対する検査や病態評価、訓練計画のほか、成人の複視(物が二重に見える状態)に対するリハビリなども行っています。さらに、日常生活で見え方に困っている視覚障害者に対して、ルーベなどの補助具の選定や生活支援を行い、患者さんの「見る」機能に寄り添ったサポートを行っています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_025/dept_s_dtl/</p>	

【全コース】

部署・部門	実習学科等	施設紹介	二次元バーコード
福利厚生エリア	学生教職員一般	<ul style="list-style-type: none"> ●8階には、学生・教職員食堂、レストラン、売店、書店、銀行、美容室、クリーニング店、コーヒーストックなどがあり、学生・教職員や一般の方、入院患者さんへのサービスを行い、日々の生活を支えています。 <p>参考ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/floor_02_01/info_dtl/</p>	